

不義理をしていた税理士のやさしい一言にありがとう。

主要取引先が倒産し、途方に暮れていたときのことでした。不況が続く資金繰りが苦しく、設立以来お世話になっていた税理士さんには二年間も顧問料が払えないままではいけません。こんな時分でも十分かかっていましたので、何とか自力で資金繰りをして切り抜けることを考えて、しかし、夜も眠れない胃がキリキリと痛みます。

何処で聞きつけたのか、ご無沙汰していた税理士から電話があり「社長！〇〇会社が潰れたようだけど社長の会社は大丈夫なの？」状況を話すと「直ぐ行くから資金繰りの資料をそろえておいて！」とバタバタしているうちに税理士が会社にやってきました。税理士は私の顔を見たり、「社長。こんな時は健康が第一だよ。資金繰りは私が纏めておくからその間に医者に行ってください。万一のことになったって命までは取れないから、アツツハハ」と豪快な声でハツパをかけられました。

その後、税理士のお世話でリスク・カウンセラーと言う人に出会うことになり夫婦共々、大変お世話になりました。弁護士事務所に行くときもいつも付き添ってくれ、平常心で粛々と会社整理をすることができました。後日談ですが、あの時、医者に行つていなければ、入院という事態になっていたようです。不義理していた先生からの一言に感謝感謝です。

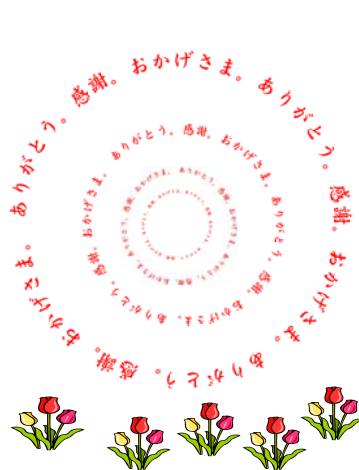
(横浜市/F・Oさん)

有料道路代を投入してくれたドライバーさんありがとう。

昨年、車で千葉県銚子市へ葬儀に行つたときのことです。東関道を通り潮来インターで一般道に降り、目的地に向かう走りながら、市内に入る手前が知らず知らず有料のバイパスを走行していたようで、料金ゲートに導入。その料金所に

はETC設備がなく慌てて小銭を探すことに。いつものならジャラジャラと小銭入れには一円玉と五円玉だけ。あちこちのポケットを探しても小銭はどこからも出てきません。バックミラーで後ろを見ると次々と後続車がつながり焦るばかり。そのとき、直ぐ後ろの車から人が降りてきて黙って料金を入れてくれて「どうぞ」と言つてご自分の車に戻つてしまいました。

事なきを得て料金所を抜けて車を脇に寄せ、そのドライバーにお礼の挨拶をと思つていたら、サツと手を挙げてそのまま行つてしまいました。クラクションも鳴らさず、後ろから私の様子を察してくださったのだと思います。その日の、



何気ない親切に感動し、小銭を準備していなかったことを反省。

(板橋区/T・Hさん)

お父さん、お母さん育ててくれてありがとう。

先日実家に行つたときに、母親からあるカセットテープを貰いました。それは僕が子供の時に録音したテープでした。〇歳、一歳、三歳といろいろバージョンがあつて何でこゝない「パパー、ママァ」って僕が言っているだけの内容。でも、すっごく伝わっているんです。母「ありー！どちたの？」

父「ほら！今、笑つたぞ！」という感じの内容が永遠と六〇分入ります。でも、ものすごく二人とも幸せそうなんです。絵に描いたような幸せな光景が目に見えます。独身の頃、このテープを聴いてもきつとそんなともなかつたでしょう。

でも、三人の子供たちの父親になった今の僕ならこの頃の両親の気持ちに分かります。この頃、僕の両親はどんな気持ちだったんだろう？どれだけ幸せだったんだろう？どんな事を考えながら僕の事を眺めていたんだろう？

そんな事をぼんやり考えながらテープを聴いていた僕は不覚にも泣いてしまいました。本当に昔からずっと愛されてきたんだなあ。四歳とこんな大きくもなつても僕が今、きつとこんなに大きくなったのと同じ子供なんだなあと思つて無償の愛。本当にありがたいです。

お父さん、お母さん、本当に今までありがとう。(ふじみ野市/石原潤一さん)

ペットのマル君ありがとう。

十三年前に石神井川の橋のたもとで拾つた愛犬のマルです。運動嫌いの私は、初めた頃のグングン綱を引っ張つて歩く君に引きずられるようで、散歩に行くのが嫌でたまりませんでした。でも、いまでは医者のおアドバイスで四十分以上歩く散歩でも、君とつながるリードもゆつたりしていて、君と会話をしながら歩く散歩が楽しくなってきました。でも、高齢で心臓病になつてしまった君との散歩は十分以内と短くなつてしまったけれど、散歩の楽しさを教えてくれたマル君だよ。



(文京区/Y・Hさん)

キーホルダーを交番に届けてくれてありがとう。

家に戻つてキーホルダーを落としてしまったことに気づき、近くの交番に届けておきました。妹に預けておいたスペアキーでその日は部屋に入ることができました。それから三日ほどして新宿警察から電話があり、「あなたの届け出の鍵と特徴と一致するようなので来所して確認してください」とのことだったので早速行くことに。

私のキーホルダーがありました。このキーホルダーには、自宅と勤務先の玄関の鍵、そして母の形見としていつもお守り代わりでした。落ちていた根付けが付いていたのです。落としたりと気づいた時は頭が真っ白になり落胆し意気消沈の三日間でした。

「拾つて下さった方にお礼を…」と思ひ警察の方に聴いてみました。「ご本人のご希望によりお名前をお教えることはできません」とのことでした。いまは、その形見の根付けは大切に自宅にしまつてあり、時々眺めては「拾つて下さった方に「ありがとう」と心のこでつぶやきます。(所沢市/M・Yさん)

【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から沖縄までの友人知人から寄せていただいた「ありがとう」のこゝろに因んだ思い出、作文、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。

貴方も是非ご投稿ください。作品は編集部までお送りください。投稿いただいた方には「ありがとうメガネ拭き」をプレゼントさせていただきます。

